

主催 全国商業高等学校長協会・公益財団法人全国商業高等学校協会

後援 文部科学省・日本公認会計士協会・日本税理士会連合会

第28回 (平成24年度) 全国高等学校簿記コンクール問題 (第1部)

注 意 事 項

- (1) 答案は、すべて答案用紙に記入すること。なお、教科書に基づき日頃学校で指導を受けている記帳の方法によって、正確・迅速・整然と記帳すること。
- (2) 机上には、競技番号札・ボールペン（黒・赤）・電卓・そろばん・定規・タイマー以外おかないこと。
なお、物品の貸借はしないこと。
- (3) 赤記すべきところは、赤のボールペンを使用すること。
- (4) 答案作成にあたっては、鉛筆および消しゴムで消せるボールペンの使用は認めない。
- (5) 記帳したものを訂正する場合は、教科書に基づき日頃学校で指導を受けている方法によって訂正すること。
なお、訂正印は省略する。

1 (40点)

下記の取引の仕訳を示しなさい。ただし、勘定科目は、次のなかからもっとも適当なものを使用すること。

現金	当座預金	受取手形	売掛金	有価証券
繰越商品	積送品	建物	備品	備品減価償却累計額
建設仮勘定	のれん	子会社株式	支払手形	買掛金
借入金	未払金	未払配当金	社債	資本金
資本準備金	その他資本剰余金	利益準備金	新築積立金	別途積立金
繰越利益剰余金	売上	受取手数料	受取地代	受取利息
有価証券評価益	社債償還益	雑益	固定資産売却益	仕入
交通費	通信費	減価償却費	消耗品費	保険料
支払家賃	支払利息	社債償還損	固定資産売却損	子会社株式評価損
岡崎支店	豊橋支店	試用品	試用仮売上	損益
現金過不足				

- (1) 決算にさいし、現金過不足勘定の残高について次の原因が判明したので、適正に処理した。なお、原因不明分 ¥1,500については雑益とした。

郵便切手代 ¥1,000 タクシー代 ¥12,000 手数料の受取分 ¥23,000
 バス回数券代 ¥5,000 ボールペン代 ¥30,000 帳簿・ノート代 ¥23,000
 家賃の支払分 ¥67,000

- (2) 富山商店は、得意先山形商店にA品を原価の25%増し、B品を原価の20%増しで販売していたが、山形商店から値引きの申し出があり、両品とも原価の5%にあたる金額を値引きし、掛け代金から差し引くことにした。なお、値引き前の売上代金の合計は¥1,740,000であり、その内訳はA品が6割、B品が4割であった。

- (3) 大阪商店は、奈良商店に商品 ¥840,000 (売価) を売り渡し、全額掛けで処理していたが、本日、代金の回収にあたり次のものを受け取った。なお、自己の手形債務は消滅させること。

当店振り出しの小切手 ¥400,000 当店振り出しの約束手形 ¥240,000
 奈良商店振り出しの小切手 ¥100,000

- (4) かねて、北海道商店から商品代金として受け取っていた約束手形 ¥306,600 について、本日、同店から支払期日の延期の申し出があり、承諾した。よって、新しい約束手形 (振出日6月22日 支払期日9月5日) を受け取り、旧手形と交換し、支払延期にともなう利息は当店の当座預金口座に振り込まれた。ただし、利率は年4%であり、利息は振出日の翌日から支払期日までの日割りで計算すること。

- (5) 鳥取商事株式会社は、決算において、当座預金出納帳の残高 ¥582,000 と当座勘定残高証明書の金額 ¥654,000 の不一致の原因を調査したところ、次のことが判明したので修正した。

- (ア) 買掛金の支払いとして岩手商店に振り出した小切手 ¥130,000 が、銀行で未払いであった。
 (イ) 決算日に現金 ¥60,000 を銀行に預け入れたが、営業時間外のため翌日の入金となっていた。
 (ウ) 当座預金口座から引き落とされていた借入金に対する利息の金額を、誤って ¥4,000 と記帳していた。

- (6) 決算にあたり、売買目的で保有する次の有価証券 ¥870,000 (帳簿価額) を時価によって評価した。ただし、A株式の評価損は ¥60,000 C株式の評価益は ¥45,000 であった。なお、評価益と評価損は相殺して処理すること。

	株数	1株の帳簿価額	1株の時価
A株式	100株	¥1,800	¥1,500
B株式	100株	¥1,800	¥3,600
C株式	150株	¥1,200	¥1,500

- (7) 本店集中計算制度を採用している愛知商店 (個人企業) の本店は、建物に対する火災保険料 ¥195,000 を現金で支払った。ただし、本店では、各支店の建物に対する火災保険料も一括して支払い、建物の面積比で各支店に負担させることにしている。なお、本店および各支店の建物の延べ面積は次のとおりである。

(本店の仕訳)

本店 300㎡ (うち住居分60㎡) 岡崎支店 200㎡ (住居分はない)
 豊橋支店 150㎡ (住居分はない)

- (8) 宮城商店は当期に商品 ¥1,296,000 (売価) を36か月の均等分割払いの契約で販売し、第7回目の割賦金を回収したのち、決算をむかえた。よって、回収基準により未回収分に相当する原価を期末商品棚卸高に計上した。なお、割賦販売の売価は一般販売の売価の20%増しであり、一般販売の売価は原価の20%増しである。

- (9) かねて建設を依頼していた本社ビルが、本日、完成して引き渡しを受けた。よって、建設代金のうち、すでに支払っている¥98,400,000（建設代金の80%）を差し引き、残額は小切手を振り出して支払った。また、取締役会の決議により、このビルの建設代金と同額の新築積立金を取り崩した。
- (10) かねて、岡山商店に試用販売のため、A品（原価¥25,600）とB品（原価¥11,250）を送付していたが、本日、両品とも買い取るむねの通知を受けた。ただし、試用販売の売価は一般販売の売価の10%増しであり、一般販売の原価率はA品が80%、B品が75%である。なお、試用販売については対照勘定を用いて処理している。
- (11) 山口商事株式会社（決算年1回 3月31日）は、平成24年5月29日に備品を購入し、この代金は、これまで使用してきた備品を¥122,000で引き取らせ、新しい備品の代金との差額¥268,000は翌月末に支払うことにした。ただし、旧備品は平成19年4月1日に買い入れたもので、定額法（残存価額 零（0）、耐用年数8年）によって毎期¥42,000の減価償却費を計上し、間接法によって記帳してきた。なお、当期の減価償却費は月割りで計上すること。
- (12) 保有する南北商事株式会社の株式180株（帳簿価額@¥40,500）は、前期に実質価額によって評価替えしている。さらに当期においても財政状態が著しく悪化したので、実質価額で評価替えすることにした。なお、同社の発行済株式数は200株（時価の把握がきわめて困難な株式）であり、資産総額は前期末に比べて¥3,930,000減少し、負債総額は¥420,000増加している。
- (13) 埼玉物産株式会社は、次の条件で発行した社債を、発行後8年目の初頭に@¥99で買入償還し、小切手を振り出して支払った。ただし、社債は償却原価法（定額法）によって評価しており、償還した社債の帳簿価額は¥48,779,500であった。
- 発行条件 払込金額 @¥98.50 償還期限 10年 利 率 年3.5%
- (14) 石川商事株式会社（決算年1回 3月31日）は、5月末日に本年3月からの3か月分の地代を現金で受け取った。なお、この取引後の受取地代勘定残高は¥148,000となった。ただし、この地代については、前期末の決算時に見越しの処理をしており、当期首に受取地代勘定に再振替している。
- (15) 愛媛商店から注文のあったA品35個、B品10個、C品6個を本日発送し、代金は掛けとした。なお、A品10個、B品3個、C品2個の売価は¥39,500であり、A品10個、B品4個、C品4個の売価は¥44,000である。
- (16) 和歌山商店から、当期首に借用証書によって¥730,000を借り入れていたが、本日、支払期日前に返済を承諾してもらい、未経過15日分の利息を借入金額から差し引き、残額を現金で支払った。ただし、借り入れたさいに45日分の利息¥3,600を支払っている。
- (17) 委託販売のため、秋田商店へA品（原価@¥800 売価@¥1,120）とB品（原価@¥400 売価@¥540）の合計3,000個を積送していたが、本日、売上計算書とともに手取金¥1,881,000を送金小切手で受け取った。また、同時に売れ残ったA品100個とB品200個が返送された。ただし、委託販売は当期に開始し、売上高からその5%にあたる手数料・販売諸掛を差し引いた額を手取金としている。なお、販売のつど原価を仕入勘定に振り替えている。
- (18) 平成24年4月1日に岐阜商事株式会社は、次の財政状態にある東海物産株式会社を合併することになり、同社の株主に対して新株式100株を交付した。ただし、この合併により岐阜商事株式会社において増加する資本金の額は¥1,600,000 資本準備金の額は¥1,400,000である。なお、東海物産株式会社の貸借対照表に示されている資産および負債の時価は帳簿価額に等しいものとする。また、合併後の岐阜商事株式会社の負債比率は43%となった。

貸 借 対 照 表				貸 借 対 照 表			
岐阜商事株式会社		平成24年4月1日		東海物産株式会社		平成24年4月1日	
現金預金	1,800,000	買掛金	5,200,000	売掛金	1,450,000	買掛金	1,250,000
売掛金	4,700,000	資本金	10,000,000	備品	2,800,000	資本金	3,000,000
商 品	7,500,000	資本準備金	1,400,000		4,250,000		4,250,000
備 品	3,000,000	利益準備金	400,000				
	<u>17,000,000</u>		<u>17,000,000</u>				

- (19) 長野商事株式会社（発行済株式数2,000株）の決算および株主総会の決議は、次のとおりである。
- ①平成24年3月31日 第32期決算の結果、当期純利益¥5,600,000を計上した。ただし、繰越利益剰余金勘定の貸方残高が¥400,000ある。
- ②平成24年6月30日 株主総会において、繰越利益剰余金を次のとおり配当および処分することを決議した。なお、資本金は¥100,000,000 資本準備金は¥20,000,000 利益準備金は¥3,400,000 別途積立金は¥1,500,000である。
- 利益準備金 会社法に規定する額 配 当 金 1株につき¥2,400
別途積立金 ¥500,000

2 (18点)

静岡商店の6月30日の取引について記入された下記の略式の伝票・買掛金明細表・支払手形記入帳によって、仕訳集計表を完成しなさい。

ただし、i 仕入・売上の各取引については、代金の決済条件にかかわらず、すべて、いったん掛け取引として処理する方法によっている。

ii 1枚の伝票には、貸借それぞれ1科目だけ、記入している。

iii 各伝票・買掛金明細表・支払手形記入帳の()は各自推定すること。

入金伝票		出金伝票		売上传票	
当座預金	550,000	買掛金(兵庫商店)	386,000	栃木商店	349,500
受取利息	()	当座預金	151,000	新潟商店(値引)	6,000
売掛金(栃木商店)	362,250	買掛金(山梨商店)	()	東京商店	361,000
当座預金	()	支払利息	()	千葉商店	403,500
当座預金	176,000	当座預金	()	群馬商店	361,000
受取手数料	33,000	買掛金(島根商店)	207,800	茨城商店	941,000
売掛金(群馬商店)	188,500	営業費	33,900	新潟商店	613,000
				新潟商店(戻り)	71,000

振替伝票(借方)		振替伝票(貸方)		仕入伝票	
買掛金(神奈川商店)	231,400	支払手形	231,400	山梨商店	419,600
備品	341,000	当座預金	341,000	神奈川商店	231,400
当座預金	361,000	売掛金(千葉商店)	361,000	兵庫商店	()
受取手形	187,000	売掛金(東京商店)	187,000	広島商店	293,400
買掛金(熊本商店)	()	支払手形	()	高知商店(値引)	30,700
当座預金	130,000	受取手形	130,000	熊本商店(戻し)	27,500
買掛金(広島商店)	427,000	売掛金(新潟商店)	427,000	島根商店	687,200
支払手形	()	当座預金	()		
当座預金	39,000	受取手数料	39,000		
当座預金	204,000	前受金	204,000		
営業費	77,000	当座預金	77,000		
受取手形	91,000	受取手形	91,000		
買掛金(高知商店)	()	当座預金	()		
当座預金	316,000	売掛金(東京商店)	316,000		

買掛金明細表		
	6月29日	6月30日
山梨商店	¥()	¥ 190,800
神奈川商店	68,600	68,600
兵庫商店	172,000	214,000
広島商店	206,600	()
島根商店	12,800	492,200
高知商店	500,000	209,900
熊本商店	200,000	12,500
	<u>¥ 1,240,400</u>	<u>¥ 1,261,000</u>

支 払 手 形 記 入 帳

平成 24年		摘 要	金 額	手形 種類	手形 番号	受取人	振出人	振出日		満期日		支払場所	てん末		
													月	日	摘 要
5	30	仕 入	200,000	約手	8	山梨商店	当 店	5	30	6	30	全商銀行	6	30	支払い
6	30	仕 入	()	約手	9	神奈川商店	当 店	6	30	7	31	全商銀行			
	"	買 掛 金	160,000	為手	4	大分商店	熊本商店	6	30	7	31	全商銀行			

3 (42点)

九州商店（個人企業）では、普通仕訳帳のほかに、特殊仕訳帳として当座預金出納帳・仕入帳・売上帳を用いている。よって、次の1月中の取引を仕訳帳に記入するとともに、総勘定元帳および売掛金元帳・買掛金元帳に転記して、残高試算表を完成しなさい。

- ただし、
- i すでに記入してある取引も転記すること。
 - ii 特殊仕訳帳の摘要欄には、転記に必要な商店名のみ記入すればよい。
 - iii 普通仕訳帳の小書きは、売掛金元帳・買掛金元帳に転記する必要があるときに商店名を記入すればよい。
 - iv 総勘定元帳および売掛金元帳・買掛金元帳への転記は、日付と金額を示せばよい。
 - v 特殊仕訳帳は月末に締め切り、合計転記は特殊仕訳帳から直接おこなうこと。
 - vi 期中の の金額は、各自推定すること。

取 引

- 1月 5日 福岡商店から商品¥690,900を仕入れ、代金のうち¥420,000は小切手を振り出して支払い、残額は掛けとした。
- 6日 福岡商店から仕入れていた商品のうちに、汚損品があったため¥49,350の値引きを受けた。
- 10日 従業員から預かっていた所得税額¥35,620を小切手を振り出して納付した。
- 11日 建物¥997,500を購入し、代金のうち¥85,320は小切手を振り出して支払い、残額は翌月に支払うことにした。なお、この建物に対する仲介手数料¥28,500を現金で支払った。（取引の全部をいったん普通仕訳帳に記入する）
- 12日 宮崎商店に商品¥563,220を売り渡し、代金のうち¥245,000については同店振り出しの小切手で受け取り、ただちに当座預金に預け入れ、残額は掛けとした。なお、当店負担の発送費用¥46,000を現金で支払った。
- 14日 宮崎商店へ売り渡した上記商品のうち¥11,750は品違いのため返品された。
- 16日 佐賀商店から商品¥394,800を仕入れ、代金のうち¥162,500はさきに支払ってある内金を差し引き、残額は掛けとした。なお、引取費¥6,300を現金で支払った。
- 17日 ガス代¥129,150が、当座預金口座から引き落とされた。
- 18日 福岡商店に対する買掛金¥250,000を小切手を振り出して支払った。また、佐賀商店に対する買掛金支払いのため、得意先鹿児島商店あての為替手形¥200,000を振り出し、同店の引き受けを得て、佐賀商店に渡した。
- 20日 長崎商店に商品¥838,950を売り渡し、代金のうち¥630,850については大分商店振り出しの約束手形を裏書きのうえ譲り受け、残額は長崎商店振り出しの小切手で受け取り、ただちに当座預金に預け入れた。
- 23日 先月、備品を購入したさいに、今月支払うことになっている¥173,000を小切手を振り出して支払った。
- 25日 20日に長崎商店から受け取った約束手形を取引銀行で割引き、割引料¥6,310を差し引かれ、手取金は当座預金とした。（当座預金出納帳だけで処理する）
- 26日 宮崎商店に対する売掛金¥ を同店振り出しの小切手で受け取り、ただちに当座預金に預け入れた。
- 27日 沖縄商店振り出し、当店あての約束手形¥465,000が期日となり、当座預金口座に振り込まれたとの通知を受けた。
- 30日 本月分の給料¥360,000から所得税額¥35,470を差し引き、残額は小切手を振り出して支払った。（当座預金出納帳だけで処理する）

第28回（平成24年度） 第 1 部〔答案用紙〕

番号		氏名	
----	--	----	--

1	
得点	

2	
得点	

3	
得点	

1部	
総得点	

1 審	
-----	--

2 審	
-----	--

3 審	
-----	--

	借 方	貸 方
(1)		
(2)		
(3)		
(4)		
(5)		
(6)		
(7)		

	借	方	貸	方
(8)				
(9)				
(10)				
(11)				
(12)				
(13)				
(14)				

番号		氏名	
----	--	----	--

		借	方	貸	方
(15)					
(16)					
(17)					
(18)					
(19)	①				
	②				

1	
得点	

2

仕 訳 集 計 表

平成24年6月30日

借	方	平	勘 定 科 目	平	貸	方
	1,602,750		現 金			1,540,900
			当 座 預 金			
			受 取 手 形			
			売 掛 金			
			備 品			
			支 払 手 形			
			買 掛 金			
			前 受 金			
			売 上			
			受 取 手 数 料			
			受 取 利 息			2,000
			仕 入			
			営 業 費			
	22,000		支 払 利 息			

2

得点

3

当座預金出納帳

1

[illegible]

仕 入 帳

1

[illegible]

帳上売

1

[illegible]

普 通 仕 訳 帳

1

[illegible]

総勘定元帳

現金 1	当座預金 2	受取手形 3
1/1 前期繰越 296,090	1/1 前期繰越 1,412,130	1/1 前期繰越 932,000
売掛金 4	繰越商品 5	建物 6
1/1 前期繰越 640,000	1/1 前期繰越 1,987,500	1/1 前期繰越 1,187,500
前払金 7	支払手形 8	買掛金 9
1/1 前期繰越 162,500	1/1 前期繰越 844,100	1/1 前期繰越 690,000
未払金 10	所得税預り金 11	資本金 12
1/1 前期繰越 173,000	1/1 前期繰越 35,620	1/1 前期繰越 4,875,000
売上 13	仕入 14	給料 15
水道光熱費 16	発送費 17	手形売却損 18

売掛金元帳

鹿児島商店 1
1/1 前期繰越 410,000
宮崎商店 2
1/1 前期繰越 230,000

買掛金元帳

福岡商店 1
1/1 前期繰越 414,000
佐賀商店 2
1/1 前期繰越 276,000

残高試算表

平成24年1月31日

借方	勘定科目	貸方
	1 現金	
	2 当座預金	
	3 受取手形	
486,470	4 売掛金	
	5 繰越商品	
	6 建物	
	7 前払金	
	8 支払手形	
	9 買掛金	
	10 未払金	
	11 所得税預り金	
	12 資本金	
	13 売上	
	14 仕入	
	15 給料	
	16 水道光熱費	
	17 発送費	
	18 手形売却損	

3

得点

第28回（平成24年度）第1部〔審査基準〕

1	
得点	2点×20=40点

2	
得点	2点×9=18点

3	
得点	3点×14=42点

1部	
総得点	100点

	借	方		貸	方
(1)	通 信 費 交 通 費 消 耗 品 費 支 払 家 賃	1,000 17,000 53,000 67,000		現 金 過 不 足 受 取 手 数 料 雜 益	113,500 23,000 1,500
(2)	売 上	70,760		売 掛 金	70,760
(3)	当 座 預 金 支 払 手 形 現 金	400,000 240,000 100,000		売 掛 金	740,000
(4)	受 取 手 形 当 座 預 金	306,600 2,520		受 取 手 形 受 取 利 息	306,600 2,520
(5)	当 座 預 金	2,000		支 払 利 息	2,000
(6)	有 価 証 券	15,000		有 価 証 券 評 価 益	15,000
(7)	保 險 料 資 本 金 岡 崎 支 店 豊 橋 支 店	72,000 18,000 60,000 45,000		現 金	195,000

	借	方	貸	方
(8)	繰越商品	725,000	仕入	725,000
(9)	建物	123,000,000	建設仮勘定	98,400,000
	新築積立金	123,000,000	当座預金	24,600,000
			繰越利益剰余金	123,000,000
(10)	売掛金	51,700	売上	51,700
	試用仮売上	51,700	試用品	51,700
(11)	備品	390,000	備品	336,000
	備品減価償却累計額	210,000	未払金	268,000
	減価償却費	7,000	固定資産売却益	3,000
(12)	子会社株式評価損	3,915,000	子会社株式	3,915,000
(13)	社債	48,779,500	当座預金	48,510,000
			社債償還益	269,500
(14)	現金	222,000	受取地代	222,000

		借	方	貸	方
(15)		売	掛 金 136,000	売	上 136,000
(16)		借	入 金 730,000	支 払 利 息 1,200	現 金 728,800
(17)		現 金 1,881,000	仕 入 1,600,000	売 上 1,881,000	積 送 品 1,600,000
(18)		売 掛 金 1,450,000	備 品 2,800,000	買 掛 金 1,250,000	資 本 金 1,600,000
		の れ ん 200,000		資 本 準 備 金 1,400,000	そ の 他 資 本 剰 余 金 200,000
(19)	①	損	益 5,600,000	繰 越 利 益 剰 余 金	5,600,000
	②	繰 越 利 益 剰 余 金	5,780,000	利 益 準 備 金 480,000	未 払 配 当 金 4,800,000
				別 途 積 立 金	500,000

1	2 点 × 20 = 40 点
得点	

2

仕 訳 集 計 表

平成24年6月30日

借 方	元	勘 定 科 目	元	貸 方
1,602,750		現 金		1,540,900
1,632,000		当 座 預 金		1,894,400
278,000		受 取 手 形		221,000
3,029,000		売 掛 金		1,918,750
341,000		備 品		
200,000		支 払 手 形		391,400
2,039,000		買 掛 金		2,059,600
		前 受 金		204,000
77,000		売 上		3,029,000
		受 取 手 数 料		72,000
		受 取 利 息		2,000
2,059,600		仕 入		58,200
110,900		営 業 費		
22,000		支 払 利 息		
11,391,250				11,391,250

2

得点

2点×9=18点

当 座 預 金 出 納 帳

1

平 24 年	成 年	勘定科目	摘 要	元 丁	売 掛 金	諸 口	平 24 年	成 年	勘定科目	摘 要	元 丁	買 掛 金	諸 口
1	12	売 上		✓		245,000	1	5	仕 入		✓		420,000
	20	売 上		✓		208,100		10	所得税預り金		11		35,620
	25	受取手形		3		630,850		11	建 物		✓		85,320
	26	売 掛 金	宮崎商店	売2	260,000			17	水道光熱費		16		129,150
	27	受取手形		3		465,000		18	買 掛 金	福岡商店	買1	250,000	
	30	所得税預り金		11		35,470		23	未 払 金		10		173,000
								25	手形売却損		18		6,310
								30	給 料		15		360,000
					260,000	1,584,420						250,000	1,209,400
	31			4		260,000		31			9		250,000
	"			2		1,844,420		"			2		1,459,400
			前月繰越	✓		1,412,130				次月繰越	✓		1,797,150
						3,256,550							3,256,550

仕 入 帳

1

平 24 年	成 年	勘定科目	摘 要	元 丁	買 掛 金	諸 口
1	5	当座預金		✓		420,000
		買 掛 金	福岡商店	買1	270,900	
	6	買 掛 金	福岡商店	買1	49,350	
	16	前 払 金		7		162,500
		買 掛 金	佐賀商店	買2	232,300	
		現 金		1		6,300
					503,200	588,800
	31			9		503,200
	"			14		1,092,000
	"			9/14		49,350
						1,042,650

売 上 帳

1

平 24 年	成 年	勘定科目	摘 要	元 丁	売 掛 金	諸 口
1	4	現 金		1		90,000
	12	当座預金		✓		245,000
		売 掛 金	宮崎商店	売2	318,220	
	14	売 掛 金	宮崎商店	売2	11,750	
	20	受取手形		3		630,850
		当座預金		✓		208,100
					318,220	1,173,950
	31			4		318,220
	"			13		1,492,170
	"			13/4		11,750
						1,480,420

(注) 純売上高の1,480,420は、上部に単線、下部に複線がなければならない。

普 通 仕 訳 帳

1

平 24 年	成 年	摘 要	元 丁	借 方	貸 方
1	1	前 期 繰 越 高	✓	6,617,720	6,617,720
	11	(建 物) 諸 口	6	1,026,000	
		(当 座 預 金)	✓		85,320
		(未 払 金)	10		912,180
		(現 金)	1		28,500
	12	(発 送 費)	17	46,000	
		(現 金)	1		46,000
	18	(買 掛 金)	9/買2	200,000	
		(売 掛 金)	4/売1		200,000
		佐 賀 商 店 鹿 児 島 商 店			

総勘定元帳

現 金 1				当 座 預 金 2				受 取 手 形 3			
1/1 前期繰越	296,090	1/11	28,500	1/1 前期繰越	1,412,130	1/31	1,459,400	1/1 前期繰越	932,000	1/25	630,850
4	90,000	12	46,000	31	1,844,420			20	630,850	27	465,000
		16	6,300								
売 掛 金 4				繰 越 商 品 5				建 物 6			
1/1 前期繰越	640,000	1/18	200,000	1/1 前期繰越	1,987,500			1/1 前期繰越	1,187,500		
31	318,220	31	260,000					11	1,026,000		
		"	11,750								
前 払 金 7				支 払 手 形 8				買 掛 金 9			
1/1 前期繰越	162,500	1/16	162,500			1/1 前期繰越	844,100	1/18	200,000	1/1 前期繰越	690,000
								31	250,000	31	503,200
								"	49,350		
未 払 金 10				所得 税 預 り 金 11				資 本 金 12			
1/23	173,000	1/1 前期繰越	173,000	1/10	35,620	1/1 前期繰越	35,620			1/1 前期繰越	4,875,000
		11	912,180			30	35,470				
売 上 13				仕 入 14				給 料 15			
1/31	11,750	1/31	1,492,170	1/31	1,092,000	1/31	49,350	1/30	360,000		
水道 光 熱 費 16				発 送 費 17				手 形 売 却 損 18			
1/17	129,150			1/12	46,000			1/25	6,310		

売掛金元帳

鹿 児 島 商 店 1			
1/1 前月繰越	410,000	1/18	200,000
宮 崎 商 店 2			
1/1 前月繰越	230,000	1/14	11,750
12	318,220	26	260,000
買 掛 金 元 帳			
福 岡 商 店 1			
1/6	49,350	1/1 前月繰越	414,000
18	250,000	5	270,900
佐 賀 商 店 2			
1/18	200,000	1/1 前月繰越	276,000
		16	232,300

残高試算表

平成24年1月31日

借 方	元 子	勘定科目	貸 方
305,290	1	現 金	
1,797,150	2	当 座 預 金	
467,000	3	受 取 手 形	
486,470	4	売 掛 金	
1,987,500	5	繰 越 商 品	
2,213,500	6	建 物	
	7	前 払 金	
	8	支 払 手 形	844,100
	9	買 掛 金	693,850
	10	未 払 金	912,180
	11	所得 税 預 り 金	35,470
	12	資 本 金	4,875,000
	13	売 上	1,480,420
1,042,650	14	仕 入	
360,000	15	給 料	
129,150	16	水道 光 熱 費	
46,000	17	発 送 費	
6,310	18	手 形 売 却 損	
8,841,020			8,841,020

3

得点

3点×14=42点